

事業報告(要旨)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1. 株式会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

全般的概況

当年度における道内の小売動向は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の停滞により、雇用・所得環境への波及による消費低迷が続き、総じて非常に厳しい景況感で推移いたしました。

このような情勢の下、当社は中期3カ年(令和2~4年度)事業計画に沿って、重点課題である「SC運営の効率化・収益力向上対策」、「安心・安全なSC運営のための施設維持対策」、「周辺開発を踏まえたSCリニューアル改装計画」、「まちづくり計画と連動した暫定利用地開発推進」について、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して軌道修正を図りながら、主要部門であるSC事業のほか各事業部門において各種施策を推進いたしました。

具体的には、専門店未誘致区画への新規テナント導入を実施するとともに、クレジット端末更新により電子マネー決済を導入し利便性を強化したほか、当社とテナント間のコミュニケーションシステムを導入しテナント管理の効率化を進めました。またデュオ棟屋上時計塔の撤去など老朽施設・設備の対策工事やバスターミナルの乗場改善工事を実施するとともに、北駐車場区画の開発に係る各種検討やエリアマネジメント実施に向けたG I街区事業者との協議を進めました。さらに前年度から2カ年計画で進めていたホテル客室改装工事を完了するとともに、駐車場の機械化・賃貸化に向け新たな事業者との調整や子会社解散・清算に向けた準備を進めました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響では、政府の緊急事態宣言を受け、4月18日から5月31日までの間、サンピアザ・デュオ専門店及びカテプリの臨時休業や一部テナントの営業時間短縮、水族館の臨時休館、カルチャースクールの臨時休校の他、テナントへの賃料減額支援等の対応を行いました。また当初計画していたリニューアル改装計画の策定年次を順延する措置を取りました。

上記の結果、当年度の業績は、SC事業、ホテル事業、関連事業で大幅な減収となり、売上高は対前年比▲690百万円減の3,483百万円(対前年度83.5%)となりました。一方、支出面では売上原価が外部委託費等の減少により3,348百万円(同95.7%)と減少し、販売費一般管理費も464百万円(同91.9%)と抑制されたものの、経常損益では対前年比▲424百万円減の▲290百万円の損失計上となりました。

さらに当期損益については、コロナの影響により今後の業績動向が不透明なため、繰延税金資産の計上について慎重に検討し、133百万円を取り崩した結果、法人税等調整額が増加したことにより、当期純損失は▲424百万円となりました。

(2) 財産及び損益の状況の推移

年度 項目	平成 29 年度 第 44 期	平成 30 年度 第 45 期	令和元年度 第 46 期	令和 2 年度 (当期)第 47 期
売上高(百万円)	4,255	4,321	4,173	3,483
経常利益(百万円)	250	307	134	▲290
当期純利益(百万円)	246	214	69	▲424
1株あたり当期純利益	141円60銭	123円23銭	40円03銭	▲243円88銭
総資産額(百万円)	26,905	26,681	26,635	26,099
純資産額(百万円)	12,272	12,486	12,556	12,311
1株あたり純資産額	7,053円25銭	7,176円39銭	7,216円35銭	7,075円57銭

(3) 重要な親会社及び子会社の状況

- ① 重要な親会社の状況
該当事項はありません。
- ② 重要な子会社の状況

会社名	資本金	議決権比率	主要な事業内容
アーク開発振興(株)	17,165万円	46.60%	ビルメンテナンス受託業務他
(株)アークホテルシステム	2,000万円	100.00%	ホテルの管理運営業務
(株)新さっぽろパーキングシステム	2,000万円	100.00%	駐車場の管理業務

(4) 重要な企業結合等の状況

会社法施行規則第120条に規定する事業の譲渡、他の会社の事業の譲受及び株式その他の持分又は新株予約権の取得、吸収合併又は吸収分割による他法人等の事業に関する権利義務の承継等に該当する事項はありません。

(5) 主要な事業内容

- ① SC事業
札幌副都心開発の一環として建設したSC3棟（サンピアザ、デュオ1、デュオ2）の賃貸・管理・運営
- ② 関連事業
駐車場5ヶ所（サンピアザ、デュオ、北、東、南）、新札幌バスターミナル、サンピアザ水族館、新さっぽろデュオカルチャースクール、サンピアザ劇場等の管理・運営、その他付随する事業
- ③ ホテル事業
デュオ1ビル内に設置の都市型ホテル（新さっぽろアークシティホテル）の管理・運営
- ④ 土地賃貸事業
高層ホテルビル・オフィスビルに係る土地の賃貸事業

(6) 主要な事業所

名称	所在地	開設日
新さっぽろアークシティ「サンピアザ」SC	札幌市厚別区	昭和52年6月10日
新さっぽろアークシティ「デュオ1」SC	札幌市厚別区	平成2年6月1日
新さっぽろアークシティ「デュオ2」SC	札幌市厚別区	平成4年6月5日
新さっぽろアークシティホテル	札幌市厚別区	平成2年6月6日

2. 会社の株式に関する事項

(1) 株式数

- ① 発行する株式の総数 2,800,000株
- ② 発行済み株式の総数 1,740,000株

(2) 株主数 17名

(3) 発行済み株式の総数の10分の1以上の株式を保有する株主を含む大株主の状況

大株主名	持株数	出資比率
札幌市	600,000株	34.5%
株式会社日本政策投資銀行	340,000株	19.5%
株式会社日本カストディ銀行	160,000株	9.2%
ノースパシフィック株式会社	153,000株	8.8%
株式会社北洋銀行	87,000株	5.0%
株式会社北海道銀行	80,000株	4.6%
株式会社みずほ銀行	80,000株	4.6%
北海道	60,000株	3.4%
共栄火災海上保険株式会社	37,200株	2.1%
損害保険ジャパン株式会社	30,840株	1.8%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	20,560株	1.2%
東京海上日動火災保険株式会社	20,560株	1.2%
三井住友海上火災保険株式会社	20,560株	1.2%

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等（当年度末現在）

地位及び担当	氏名	重要な兼職の状況
代表取締役社長	中塚 宏隆	(株)新さっぽろパーキングシステム代表取締役社長
専務取締役	井澤 睦雄	(株)アークホテルシステム代表取締役社長
常務取締役	川尻 寿彦	
取締役	西内 敦久	
取締役	佐藤 渉	アーク開発振興(株)代表取締役社長
取締役	石田 裕一	(株)北洋銀行執行役員公務金融部長
取締役	大島 佳之	札幌市都市局長
取締役	友定 聖二	(株)日本政策投資銀行北海道支店長
取締役	疋田 一晶	(株)北海道銀行執行役員札幌・石狩、空知地区営業担当
取締役	廣田 恭一	札幌商工会議所専務理事
常勤監査役	鶴田 立一	
監査役	秋田 耕児	北海道電力(株)常任監査役
監査役	堤 信之	北海道瓦斯(株)常勤監査役

4. 会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称 E Y新日本有限責任監査法人

(2) 当該事業年度中に辞任又は解任された会計監査人に関する事項
該当事項はありません。

5. 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

(1) 内部統制システムの整備に関する基本方針について

当社は、平成18年6月8日開催の取締役会において、内部統制システムの整備に関する基本方針を決議しております。

(2) 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

当事業年度における業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要は以下のとおりであります。

① コンプライアンス

当社は、コンプライアンス行動基準および関連諸規程を定め、グループウェアで公開することにより社内に周知するとともに、集合研修による教育を毎年定期的且つ継続的に行うことにより、当社役職員のコンプライアンス意識向上に努めております。

また、コンプライアンス基本規程およびコンプライアンス推進委員会規程に基づき、代表取締役社長を委員長とするコンプライアンス推進委員会を当事業年度において年2回開催し、内部通報および相談状況の把握のほか、各部門のコンプライアンス管理責任者からのコンプライアンス抵触懸念事象の聞き取り、調査分析、再発防止策の協議等を行っております。

さらに、内部通報制度規程に基づき、コンプライアンス推進委員会ラインと社外顧問弁護士ラインの二つの通報・相談体制を運用し、問題の予防および早期発見に努めております。

② 監査役の監査

当社の監査役は、定期的開催される監査役会ならびに取締役会に出席するとともに、会計監査人との定例的な意見交換を実施しております。常勤監査役においては常勤役員会、役員幹部会、部課長会議、コンプライアンス推進委員会等の重要な会議に出席するとともに、代表取締役社長との定例的な意見交換を行い、業務執行の状況を把握することで監査の実効性の確保を図っております。また監査の実効性の向上のため、平成18年8月から監査役の職務を補助する人員を3名配置しております。

③ 内部監査

内部監査を担当する総務部において、内部監査規程に基づき内部監査計画を策定し、計画に基づき内部監査を実施いたしました。監査結果は被監査部門に通知され、不適合事項については是正措置が取られております。

以上